

会議名	平成22年度第3回 第1分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成22年10月18日（金） 13時30分～16時00分
場所	江南市消防本部 2階 小会議室(1)
出席者	市民委員 宮川秀男、岩井喜美子、馬場紀久世、望月晴夫、細川幸子、前田哲郎
	市職員 永井嘉信、江端義人、大藪勝寛、滝紀彦、大森幹根
議題	まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて
資料	平成22年度第2回まちづくり会議（第1分科会）議事要旨

◆ 会議結果 ◆

まちづくり評価及び戦略計画の見直しについて

- 生活環境、産業分野の柱2のまちづくり評価及び戦略計画の見直しについて、消防本部参事兼総務予防課長及び消防署長から説明がありました。

【まちづくり評価関係】

- 救急出動は夜間が多いと思うが、江南厚生病院以外に夜間救急外来の整備が必要ではないかという意見があり、健康づくり課の所管事務であるので、意見のあったことは伝える。また、今後、高齢者に対する救急出動は増加してくるのは確かであり、緊急時の出動を確保するためにも、タクシー代わりの利用は避けるよう、正しい利用を啓発していきたいとの説明がありました。
- 住宅用火災警報器の設置率は近隣市町と比べてどうかという質問があり、犬山市の設置率が高いが、住んでいる市民の意識が問題となっているとの説明がありました。
- AEDの数はどれくらいあるのかという質問があり、県のAEDマップはあるが、民間企業においてどれくらいあるのかは把握していない。公共施設では、小中学校、福祉センター、市民体育会館、市民文化会館、すいとびあ江南、図書館などに設置している。また、すいとびあ江南では実際に2回使用した、との説明がありました。
- 消防の広域化に伴い、消防団のあり方も様変わりしていくかもしれない。大規模災害に消防団がどういった動きをしていくのか、準備していく必要がある。また救急資機材搭載型消防車両も導入したので操作に慣れていきたいとの意見がありました。
- 消防団の人材確保は、全国規模での問題となっているので、区長、広報、団員などを通じて啓発していかなくてはならないとの意見がありました。

【戦略計画の見直し関係】

特になし

- 生活環境、産業分野の柱4のまちづくり評価及び戦略計画の見直しについて、産業振興課長から説明がありました。

【まちづくり評価関係】

- 市民菜園の箇所数と面積について質問があり、34箇所、39,427㎡であるとの説明がありました。
- 藤まつり、江南市民花火大会などの市のイベントは北部に偏っており、またNHK大河ドラマ「信長」で有名になった市の南部にある生駒屋敷、久昌寺などの案内看板は老朽化して見づらくなって

いる。市として、北部だけでなく、南部地域にも目を向けて欲しいとの意見がありました。

- ・「光と音の祭典」の市民花火大会は、BGMとマッチした非常に良いイベントであった。若者からお年寄りまで幅広い年齢層が参加できるもので、まちおこしにつながるのではないか。との意見がありました。

平成 22 年度まちづくり会議(全体会議)日程のご案内

第 1 回まちづくり会議 (全体会議)

開催日時 : 平成 22 年 11 月 8 日 (月) 午後 1 時 30 分～ 市役所第 4 委員会室

第 2 回まちづくり会議 (全体会議)

開催日時 : 平成 22 年 11 月 19 日 (金) 午後 1 時 30 分～ 市役所第 2 委員会室